

# 令和元年度第1回森林の未来を考える懇談会 発言要旨

- 1 日 時 令和元年6月17日
- 2 場 所 杉妻会館4階牡丹B
- 3 出席委員 6名
- 4 議 事

## (1) 議題

ア 平成30年度森林環境基金事業の実績について

### 【事務局】

(資料1による説明)

### 【橋口委員】

「森林環境交付金事業」の「森林環境学習の推進」について、小学校・中学校の区別は行われているが、地域ごとの活動の割合や内訳は把握されているのか。

また、「途切れのない森林学習」の観点からすれば、幼年期の森林との関わりは重要だと思う。そのような活動は対象となっているのか。

### 【事務局】

各地の農林事務所から活動の報告を受けているが、地域ごとに区別した集計は現在のところ行っていない。また、幼保施設における事業として、「地域提案重点枠」を活用し、木製玩具の導入などを行っている地域があるが、集計した資料としては手元にない。今後集計を行い、後日改めてお示ししたい。

参考として、「森林環境基本枠」については、市町村配分額を算出する際、小中学校の児童・生徒数を因子として使用している関係から、小中学校での活動が中心である。しかし、「県民参画の推進」中の「親子木工教室」など、未就学児への教育も事業の対象としている。

### 【座長】

「エコ七夕事業」は幼児期に対する事業のようだが、環境共生課から意見はあるか。

### 【環境共生課長】

本事業は幼年期の子供を対象として森林環境教育を行っている。この他、もりの案内人が幼保施設を訪問し、木製玩具を通した木との触れあいや、森林の大切さを伝える講話を行うといった活動を行っている。

**【橋口委員】**

「担い手緑化推進事業」について、林業祭の会場はどこで行われたのか。

**【事務局】**

郡山市の林業研究センターで開催した。

**【丸委員】**

森林環境学習を行うにあたり、これまでは「放射線が怖い」という認識から、森林に近づかない人が多かったが、この認識に変化は見られているのか。

**【森林計画課長】**

震災当初は放射線に関する情報の不足から不安を感じる方が多かったが、震災後空間線量率が4分の1まで低下し、放射線に対する理解も諸先生方や保護者のネットワークの中で進んでいる。全ての保護者が不安を抱かないと断言はできないが、落ち着きを取り戻していると考えている。

**【座長】**

森林内の放射線に関する教育などは事業の中に含まれていないのか。

**【森林計画課長】**

森林環境学習の事業の中で触れることはあるが、具体的に放射線について学習するための資料を作成するといった事業は実施していない。

イ 令和元年度森林環境基金事業の実施について

**【事務局】**

(資料2による説明)

**【座長】**

議題アの内容に戻るが、「森林・水循環推進事業」について、事業の具体的な内容を知りたい。また、どういった年代の方が参加しているのか。

**【土地・水調整課副主査】**

本事業では、森林に限らず、水源地域の水源から河川、河口、海といった地域を含めた環境学習を実施している。

例として、「緑の水源地再生チャレンジ事業」では、県内在住の大学生を対象に、西郷村において、阿武隈川の水源地域である赤面山の植林を行った後、下流の堀川ダムで外来生物の駆除活動を実施した。

また、「水を育む森林環境学習発表会」では、中学生を対象とした「水の作文コンクール」と併せ、森林に関する講義を実施し、森林への理解を深めている。

**【橋口委員】**

震災後、親の世代が森に入らないことで、子供たちも森に入る機会が減っている。しかし、実際に子供を森に連れて行くと、先入観がないため、自由に遊び始める。こういったところから森林環境教育を行うためにも、「もりの案内人養成事業」において、幼児に向けたカリキュラムのためのステップアップ講座のようなものを持ってないか。もりの案内人養成講座だけではスキルが十分でない。自助努力に任せているのか。

**【森林保全課副課長】**

本事業は、もりの案内人を新規に認定することを主な事業としている。内部でもスキルアップのための研修は議論になっており、前回の懇談会でも、「もりの案内人に級をつける」などの提案があった。まだ形とはなっていないが、新たなカリキュラムの拡充に向けて検討していきたい。

**【座長】**

事業ごとに完全な区切りを入れずに、それぞれ連携、連動した事業を展開し、効果的に事業を進めてほしい。「エコ七夕事業」と「もりの案内人養成事業」や、「森林・水循環推進事業」と「森林環境学習の推進」など、これまでの議論の中でも連携できる点があるように思う。

議題ウ「森林づくりの提言（案）について」の議事は非公開のため、発言要旨は掲載いたしません。